

第1学年2組 英語科 学習指導案

日 時 平成27年10月16日(金)

場 所 南陽市立赤湯中学校

1年2組教室

生徒数 男子13名 女子12名

指導者 教諭 長澤 由美子

1. 単元 「Unit6 ベッキーのおばあちゃん」 (*NEW HORIZON English Course Book 1*)

2 目標

- (1) 人についての簡単な紹介や、人についてたずねたりそれに答えたりする活動に積極的に取り組むことができる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 三人称単数現在形の文型を用いて書いたり話したりして表現することができる。
(表現の能力)
- (3) 三人称単数現在形を含む文の意味を、聞いたり読んだりして理解することができる。
(理解の能力)
- (4) 三人称単数現在形の形・意味・用法を理解し、人物紹介で適切に用いることができる。
(言語や文化の知識・理解)

3. 指導にあたって

(1) 題材について

本単元は三人称単数現在形を中心に学ぶ単元である。Unit1,2 では be 動詞を用いた肯定文、疑問文、否定文を学習し、Unit3 では一般動詞を用いた文を学習した。一般動詞の学習によって、生徒たちの表現力は格段に広がり、それが英語でコミュニケーションをとる際の大きな喜びにつながった。単元のまとめでは一般動詞を用いて自己紹介を行い、英文を自分のものとして身に付け、発表できるように学習活動を設定した。さらに、Unit4,5 では疑問詞の what や how many が表現に加わり、Yes/No で答える以外の疑問文を学んでいる。それによって質問を用いての会話表現のバリエーションが増えている。そして本単元 Unit6 では三人称単数現在形の表現が加わる。

そこで、自分以外の人物について紹介するという活動につなげたい。しかも自分の興味がある人物を選択することで意欲的に英語を発表できるような活動を仕組もうと考えた。また、一方的に発表を聞くのではなく、その人物について質問する活動も取り入れることで積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢を育むとともに、聞き手の姿勢を育てることで話し手の意欲や達成感を育む。

これまで、三人称単数現在形を学ぶ時期から英語を「不得意だ」「嫌いだ」と感じる生徒が増えるということが様々な調査から言われている。この変化は全くの「形式(form)」の問題であるので、コミュニケーションという観点から、あまりの完全さを目指す指導は効果的ではないと考える。文法を習得するためのパターンプラクティスではスペリングや音声まで繰り返し訓練する一方で、コミュニケーション活動では多少のs(-es)のミスを問題にせず発表させる等、明確に区

別し、配慮する。そして英語を用いて自分の考えを「発信」することを前向きに捉えていけるようにする。Multi Plus1で行った「自己紹介」の活動から発展させ、さらに豊かな表現でコミュニケーション活動が行えるように指導していきたい。

内容としては、この春さくらたちのクラスにカナダから転校してきたベッキーが、アメリカに住む祖母ナンシーについて紹介していくストーリー構成となっている。ジャーナリストであるナンシーはサンフランシスコ近郊に住んでおり、日本文化に精通している。毎週末に野球観戦を楽しむエネルギッシュなナンシーの生活を通して、生徒たちにはアメリカの一般市民の生活について触れさせ、英語学習への意欲をさらに喚起したいと考える。

(2) 生徒について

生徒たちはおおむね大変意欲的に学習に取り組むことができる。特に男子については間違いをあまり恐れず、発表することができる。活動に元気に取り組む反面、学習内容の定着が困難で、課題となっている。一方女子は英語に対して少し苦手意識があるが、定期テストや小テストの達成率は高く、文法的な学習では挙手発言も多い。コミュニケーション活動に積極的に参加できない生徒が数名いる。

4月に生徒たちの意識調査を行った。小学5年時から音声を中心に外国語活動を行ってきた生徒たちが入学時に英語の学習について感じていることに、以下のような傾向が見られた。

①音声として英語をとらえることはおおむね良好であること。

日常生活によく用いられるような単語(名詞)はおおむね理解している。

②学習状況に大きな差があること。

英語検定4級・5級をすでに取得している生徒が2名いる。

③書く活動(文字を用いた学習)に不安を感じていること。

以上のことから、生徒たちの不安を取り除くために、新出事項の学習活動に十分な時間をかけるのはもちろん、既習事項も継続的に復習し、自信をもって自己表現を行う段階まで力を伸ばしたい。その際、英語を苦手とする生徒だけでなく、英語を得意とする生徒が最後まで意欲をもって活動できるような課題や場の設定を行うことも必要であると考えます。

また、以下のようなレディネステストを行った。

問：次の英文を①疑問文②否定文に変えて書きなさい。【正答者数・正答率】

(1) You are from Akayu.

① (Are) (you) from Akayu? 【20人・80%】

② (You) (are) (not) from Akayu. 【20人・80%】

(2) He is a student.

① (Is) (he) a student? 【20人・80%】

② (He) (is) (not) a student. 【19人・76%】

(3) You like cats.

① (Do) (you) like cats? 【19人・76%】

② (You) (don't) like cats. 【19人・76%】

上記の結果より、全体的に既出の文法構造については身につけているように思われる。しかし、問題別にみると、(1)と(3)の間違いは、ほぼすべてが Are you と Do you の混同であった。

そこで、これまで継続してきた毎時間の授業の初めに行う弾丸インプット(Bera Bera English)で感覚的に定着させるとともに、三人称単数現在形の文構造についても、用法を明確にし区別して定着させるように促す。

(3) 指導について

インタラクティブな活動を取り入れた授業の創造

英語の授業を通して身に付けさせたいのは、生徒一人ひとりが文化を超えて他との違いを認め、コミュニケーションをとる力である。本単元ではより多くの新しい一般動詞に触れ、それを用いることによって英語としての表現力を大きく広げていく楽しさを知ることができる。また、多様な質問とその応答も用いることができる。それらを総合的に活用した活動を設定する。まずは一人一人の活動量をできるだけ多くし、英語を使って会話をし、自分を表現する楽しさ、そして相手を理解する喜びを味わわせたい。その際、コミュニケーションの基礎として必要なポイントを絞り、明確にし、個々の生徒が達成していけるような手だてを取る。評価については、事前にループリックを生徒に提示し、それを用いて目標を個人で定め、達成するための練習を行わせることでそれぞれの意欲を喚起し、活動後の達成感にもつなげる。

また、一人ひとり発表することに抵抗がある生徒もいるので、ソシオメトリーを用いた学習ペアを構成し、安心した学習環境でお互いに学び合いながらコミュニケーション力を高め合えるよう促したい。

さらに、コミュニケーションは伝える側だけでなく、聞き手も含めた双方向の意思疎通であることから、望ましい聞き手の態度も養いたい。普段の活動からポイントを絞った効果的なリスニングの指導や聞く側の視線、メモを取ることなど、場に応じた聞き手の在り方を具体的に提示していく。また、日常からの classroom English を徹底し、聞き取れない場面では英語で聞き返すなどの自然なやり取りにつなげていく。本時では活動の前に話し手の発表に対して聞き手が質問をするという活動を取り入れることで、発展的な学習の要素も取り入れ、実際のコミュニケーションに近い感覚での活動になるようにする。

《研究の視点》 個に応じた指導・支援の工夫をすることによって、インタラクティブな活動をより効率的に、学びの深いものにする。

- | | |
|---|-------|
| ①生徒の学習に対する関心や意欲を高める教材の工夫 | <視点①> |
| ②実践的コミュニケーション能力を伸ばすためのインタラクティブな活動の工夫 | <視点②> |
| ③生徒が学習の見通しを持ったり、内容を振り返ったりすることができるシートの工夫 | <視点③> |

5. 指導計画

時間	題材	学習活動	評価規準
1 ・2	三人称単数 現在形の肯定文	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の-s(-es)の付け方や発音の仕方を知るとともに、肯定文の構造を理解する。 ・三人称単数現在形を知り、発音練習、英作文の活動をする。 ・教科書 part1 でベッキーのおばあちゃんの紹介を聞いたり読んだりして意味を理解し、音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞を三人称単数現在形にすることができ、その用法について理解することができる。(言語や文化についての知識・理解)
3 ・4	三人称単数 現在形の疑問文	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の疑問文とその応答文の構造と用法を理解する。 ・疑問文とその応答文を用いてコミュニケーション活動を行う。 ・教科書 part2 の本文を聞いて理解し、音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の疑問文とその応答文の構造や用法を理解することができる。 ・三人称単数現在形を用いて身近な人物について積極的に問答したり書いたりすることができる。
5	三人称単数 現在形の否定文	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の否定文とその応答文の構造と用法を理解する。 ・否定文と疑問文を用いてコミュニケーション活動を行う。 ・教科書 part3 の本文を聞いて理解し、音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形を用いて身近な人物について問答したり、その結果を用いて否定文を書いたりすることができる。 ・一般動詞の否定文と疑問文の構造や用法を理解することができる。
6	人物紹介1	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人物、関心のある有名人について三人称単数現在形を用いて紹介の文を書く。 ・紹介文を音読し暗記する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を用いながら意欲的に紹介文を書いたり音読練習したりしている。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・be 動詞と、三人称単数現在形の一般動詞の文を用いて一連の流れのある紹介文を作ることができる。(表現の能力)
7	人物紹介2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで紹介文を練習する。 ・グループで他の人の紹介文を聞き、内容を理解する。また、それについて質問をする。 ・他の人の紹介文の良いところを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で相手に伝える際に必要な要素について理解し、間違いを恐れずに発表している。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・三人称単数現在形を用いて、相手に伝わるように、人物を正確に紹介できる。(表現の能力)
8	三人称単数 現在形のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の文の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三人称単数現在形の文の意味・構造・用法を理解することができる。(言語や文化についての知識・理解) ・三人称単数現在形の文を書き方のルールに従って正確に書くことができる。(表現の能力)

6. 本時の指導

(1) 題材 Unit6 身近な人の紹介

(2) ①目標

- ・英語で相手に伝える際に必要な要素について理解し、間違いを恐れずに発表したり質問したりできる。
- ・三人称単数現在形を用いて、身近な人や興味のある人について紹介したり、紹介文を書いたりすることができる。

②行動目標

- ・自分の目標を設定し、積極的に発表したり質問したりできる。
- ・三人称単数現在形を用いて正しく書いて人物の紹介ができる。

(3) 指導過程 (8時間扱い 本時7時間目)

過程	学習活動	教師の働きかけ (◎主発問○発問△指示)	予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点(・) 評価(◇)
導入 2分	1. Greeting	T: Good morning, everyone. T: How are you? T: I'm (great). T: What day is it Today? T: What's the date today? T: How's the weather today?	S: Good morning, Ms. Nagasawa. S: I'm (fine), thank you. And you? S: It's Friday. S: It's October 16 th . S: It's (sunny).	
展開 ① 15分	自分の興味のある人物の紹介文を発表し、その文を書いてみよう。			
	2. Teacher's Model	△Look at me. I'll show a model. This is Haru. He is my sister's son. He is three years old. He likes cars. He likes <u>ambulances</u> .		<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ英単語で示し、日本語は補助的に示し、意味を捉えさせる。 ・生徒のモデルになるように示す。
	3. Practice in Pairs	○What will you give me? 今の発表はどんな評価がもらえるでしょうか。 △ Let's check today's goal. Look at Pera Pera English 今日の自分の目標について確認しましょう。 ○ What are the three important points in	<ul style="list-style-type: none"> ・ S/AA/A/B ランクになる。 ・自分の目指す S/AA/A/B ランクの目標到達ポイントを振り返る。 ・ volume ・ eye contact ・ <u>gesture</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の目標を確認させ、発表の意欲を高める。 <視点①><視点③>

speeches? 相手に自分の英文を伝える時に大事にしたい3つのポイントは何かあったでしょう。

△Let's practice in pairs.
The important points are ... volume, eye contact, gesture!

△Next, let's practice in different pairs. 次は前後のペアでプレ発表会をします。

《座席表1》

1	②	1	②	1	②
③	4	③	4	③	4
1	②	1	②	1	②
③	4	③	4	③	4
					4

※1-②と③-4は学習ペア

②と③は学習リーダー

※プレ発表は1-③、②-4のペア

・ポイントを明確にし、ペアで聞き合いながら良い発表ができるように練習させる。〈視点③〉

・練習を活かして発表し、互いにアドバイスさせることで展開②の発表につなげる。

展開
②
23
分

4.
Presentation in
Groups

△グループで発表しましょう。

・Group A, B, C, Dを作り、発表会をしましょう。
・一人ひとり発表が終わったら、聞き手は発表者に質問をしましょう。

・What kind of question can you ask?

・After speeches, please write the evaluation card.

《座席表2》

A	B	D	A	C	D
D	C	C	B	B	A
A	B	D	A	C	D
D	C	C	B	B	A
					D

・Does he/she ~?
・Is he/she ~?
・What does he/she (like)?
・How many ~?

《座席表3》

A	A	A	B	B	B
A	A	A	B	B	B
C	C	C	D	D	D
C	C	C	D	D	D
					D

・積極的に質問できるように、事前に様々な疑問文を復習する。〈視点②〉

・発表者が質問を促すように Do you have any questions?と聞く。

・質問が難しい生徒のために、ワークシートに疑問文のヒントや、利用できる語彙を記載する。

・事前に口頭で、疑問文の例を反復練習する。

・1人の発表が終わるごとに、ルーブリックを基準に互いに評価させる。

・内容について簡単にメモを取らせ、理解しているか確認する。

		<ul style="list-style-type: none"> • Please ask the question to your friend. • <u>Please turn your sheets around. And read your friends' comments.</u> 		<p>◇発表に対して臨機応変に質問しているか。</p> <p>• <u>自分に書いてもらったコメントを読んで個人の振り返りをさせる。</u></p>
終末10分	5. Conclusion: Presentation in class	<p>△何人か代表の人に発表してもらいます。</p> <p>△発表に使った文をできるだけたくさん書いてみましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • 挙手で発表させる。 <p>◇発表する際のポイントを理解し、間違いを恐れず発表しているか。(生徒の発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内容について確認し、発表で良い点も確認し、全体の振り返りをする。 • A面には罫線のみシンプルな解答欄、B面には vocabulary のヒントが書いてあり、自己選択できるようにする。〈視点③〉 <p>◇人物の紹介文を正しく書いているか。(ワークシート)</p>

(4) 評価

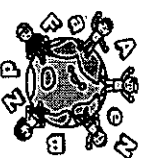
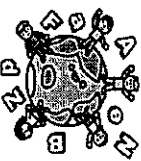
- 英語で相手に伝える際に必要な要素について理解し、間違いを恐れずに発表したり質問したりしているか。 (発表の様子)
- 三人称単数現在形を用いて、人物の紹介文を正確に書いているか。 (ワークシート)

English To Do List

1st Graders ① Unit6

Grade: 1 Class. No. Name.

To Do	Date	Check
1 動詞に-sが付くことがわかる	Worksheet	
2 -sが付く文(肯定文)を話すことができる。	Bera Bera English	
3 -sが付く文(肯定文)を書けることができる。	Worksheet	
4 -sが付く文(疑問文)を話すことができる。	Bera Bera English	
5 -sが付く文(疑問文)を書けることができる。	Worksheet	
6 -sが付く文(否定文)を話すことができる。	Bera Bera English	
7 -sが付く文(否定文)を書けることができる。	Worksheet	
8 自分の身近な人、興味のある人について、紹介する文を書くことができる。	Communicative activity	
9 自分の身近な人、興味のある人について、紹介する文を発表することができる。	Communicative activity	
10 自分の身近な人、興味のある人について、紹介する文を聞いて理解することができる。	Communicative activity	



BERA BERA English



英文	SR	1	2	3	4	5	日本語訳
1 She is <u>thirteen</u> years old.	S						彼女は13歳です。
2 He lives in <u>America</u> .	SR						彼はアメリカに住んでいます。
3 She works in <u>Canada</u> .	SR						彼女はカナダで働いています。
4 He teaches <u>English</u> .	S						彼は英語を教えています。
5 She speaks <u>foreign</u> languages.	SR						彼女は外国語を話します。
6 Does she speak <u>Japanese</u> ?	SR						彼女は日本語を話しますか。
7 Yes, she does.	S						はい、(彼女は)話します。
8 He has a <u>dog</u> .	SR						彼は(1匹の)犬を飼っています。
9 Does he have a <u>dog</u> ?	SR						彼は(1匹の)犬を飼っていますか。
10 No, he doesn't.	SR						いいえ、(彼は)飼っていません。
11 He doesn't have any <u>dogs</u> .	S						彼は1匹も犬を飼っていません。
12 He has a cat at home.	SR						彼はネコを飼っています。
13 I go to school on <u>Mondays</u> .	SR						私は学校に行きます/月曜日に。
14 She often goes to school on <u>Saturdays</u> .	SR						彼女はよく学校に行きます/土曜日に。
15 She doesn't go to school on <u>Sundays</u> .	S						彼女は学校に行きません/日曜日に。
16 He likes some of the <u>AKB members</u> .	SR						彼は何人かのAKBメンバーが好きです。
17 He also likes some of the <u>EXILE members</u> .	SR						彼はまた好きです/何人かのEXILEメンバーが。
18 My mother doesn't cook <u>well</u> .	SR						私の母は上手に料理しない。

※下線 がついてあるところも別の単語にすれば、いろんな文ができて表現が広がるよ！

DATE	Speed Reading	Mean Accuracy	Speaking
/	/	/	/
/	/	/	/
/	/	/	/

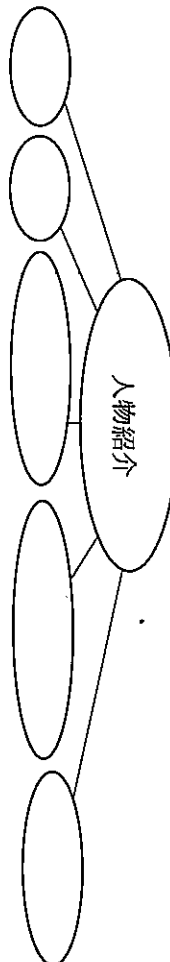
A: 13個以上 B: 8~12個 C: 1~7個

Pera Pera English 2 Speech Sheet 人物紹介①

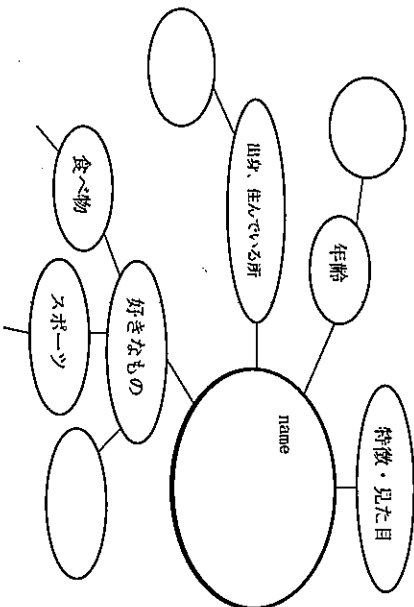
Class _____ No. _____ Name: _____

GOAL: 自分の身近な人や興味のある人について紹介する文を作り、発表会をしよう

1. だれの紹介文を発表するか、考えてみよう③



2. その人物について知っている情報を書き出してみよう③



3. 紹介に使いたい文を英語にしてみよう。

<人物の状態・様子>

- This is _____ . (名前の紹介) ※1. 会話表現 1-8
- He / She is a(my) _____ . (職業等) ※3. be 動詞 I
- He / She is _____ years old. (年齢) ※3. be 動詞 I
- He / She is from _____ . (出身) ※3. be 動詞 I
- He / She has a _____ . (体の特徴) ※4. 一般動詞 II
- He / She is _____ . (性格など) ※6. 形容詞②

cool かつ かわいい handsome ハンサムな kind 親切な cheerful 明るい
 smart 賢い tall 背が高い slender スレンダーな very とても

<特徴・生活・習慣>

- He / She likes _____ . ※4. 一般動詞 II
- He / She plays _____ (well) . ※4. 一般動詞 II
- He / She doesn' t like _____ . ※4. 一般動詞 II
- He / She doesn' t play _____ . ※4. 一般動詞 II
- He / She lives in _____ . ※4. 一般動詞 II
- He / She _____ . ※4. 一般動詞 II

<その人に対する「私」の思い>

- I like _____ . ※4. 一般動詞 II
- I love _____ . ※4. 一般動詞 II
- I watch his/ her _____ . ※4. 一般動詞 II
- listen to his/ her _____ . ※4. 一般動詞 II
- enjoy his/ her _____ . ※4. 一般動詞 II

his○○ 彼の○○ her ○○ 彼女の○○ him 彼を his 彼の

一般動詞をいろいろ使ってみよう③

run 走る go to ~ ~に行く speak 話す read 読む sing 歌う
 have 持っている study 勉強する use 使う enjoy 楽しむ

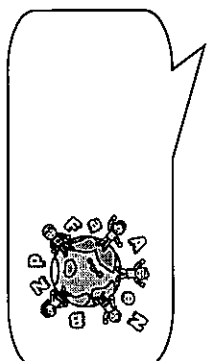
4. 5文以上出来上がったら、先生の点検を受けよう③ ⇒Speech Sheet②構成へ。

Pera Pera English 2 Speech Sheet 人物紹介④

Class _____ No. _____ Name: _____

5. 今日の紹介文をもう一度書いてみよう㊦ (初めと終わりのあいさつは除く)

A sheet



㊦ プラス I Question について

・友達の発表が終わったら、その人に質問をしてみよう㊦

今までできるようになった質問はどんなものがある？

⇒ 1) Is he/she (a) ~? —Yes, he/she is.
No, he/she isn't.

2) Does he/she 一般動詞 ~? —Yes, he/she does.
No, he/she doesn't.

3) What does he/she 一般動詞 ~? —He/She 一般動詞-s ~.

4) How many OOs does he/she 一般動詞 ~? —He/She 一般動詞-s ~O

⇒ 答えがわからない質問を聞かれたら... I'm sorry. I don't know.
ごめんなさい、わかりません。

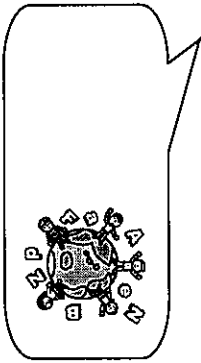
㊦ もし発表者の話していることが聞き取れなかったら...

⇒ Say that again. / Pardon?
もう一度言ってください。

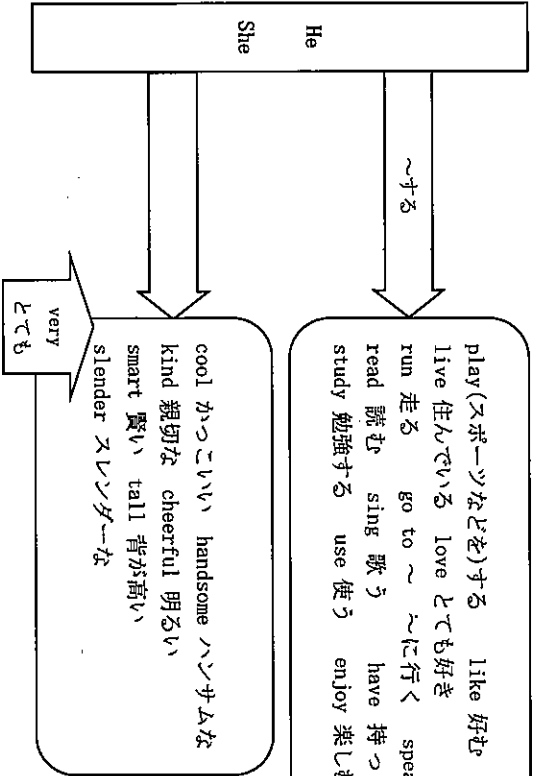
Class _____ No. _____ Name: _____

5. 今日の紹介文をもう一度書いてみよう㊦ (初めと終わりのあいさつは除く)

B sheet



play (スポーツなどを) する like 好む
 live 住んでいる love とても好き
 run 走る go to ~ ~に行く speak 話す
 read 読む sing 歌う have 持っている
 study 勉強する use 使う enjoy 楽しむ



第2学年1組 英語科 学習指導案

平成27年10月21日(水)

男子12名 女子14名 計26名

指導者 佐藤 純 (T1)

手塚 さとみ (T2)

1 単元名 PROGRAM6 A Work Experience Program (Sunshine English Course 2)

2 目標

- (1) 自分の将来の夢やその実現のために努力したいことについて、まとまりのある英語で聞き手にわかりやすく英語で発表しようとする事ができる。
[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]
- (2) 不定詞の3つの用法(名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法)を用いて、自分の興味のあることや将来のことについてまとまりのある英文を書いたり話したりすることができる。
[表現の能力]
- (3) 不定詞の3つの用法(名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法)を含む英文を読んだり聞いたりして、内容を理解することができる。
[理解の能力]
- (4) 不定詞の3つの用法(名詞的用法, 副詞的用法, 形容詞的用法)の形や意味を理解し、英文中で正確に運用することができる。
[言語や文化についての知識・理解]

3 指導にあたって

(1) 単元(題材)について

学習指導要領	第2章「外国語科の目標及び内容」	第2節 英語	2 内容
(1) 言語活動			
ア 聞くこと	(オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。		
イ 話すこと	(オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。		
エ 書くこと	(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。		
(3) 言語材料	エ 文法事項	(カ) to不定詞	
名詞としての用法	I want to drink water. / To learn English is important.		
形容詞としての用法	Hiroshi needed something to drink .		
副詞としての用法	They went to the supermarket to buy some food.		

本単元は、to不定詞を使って自分のしたいこと、行動の目的、何をするためのものかを英語で表現する能力と、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することをねらいとしている。単元内にある職場体験に関する英文を通してto不定詞の使い方を理解させ、自己表現活動へとつなげていくことが求められる。

職場体験で経験したことや将来の夢について話すことは、話題として生徒の話したい欲求を十分に満たすものである。単元を通して学んだことを用いて、自分の将来の夢について話すスピーチ活動を取り入れ、コミュニケーション能力の育成を図っていく。

(2) 生徒について

3月に行ったNRTでは、基本的な語や文を書くことや、知識・理解の分野で全国平均を大きく上回った。反面、語や文を正確に聞き取ることを苦手としている。また、音声による自己表現活動に抵抗を持っている生徒が多い。

先日のレディネステストの結果(*2ページ参照)を見ると、「動詞の原形」の認知はできているが、それを文の中で適切に用いることにやや課題が見えた。to不定詞が文のどの位置で用いられ、どのような役割を果たすのかを丁寧に指導していく必要がある。

レディネステスト結果 (10月1日実施。対象者25名(1人欠席。))

問1 playing, played, plays, play を「原形」「三人称単数現在形」「現在分詞」「過去形」に分類しなさい。 → 動詞の活用形の理解

- ①「原形」 正答率100% (25人) ②「三人称単数現在形」 正答率96% (24人)
 ③「現在分詞」 正答率84% (21人) ④「過去形」 正答率88% (22人)

問2 英文中の [] 内の動詞で適するものを選びなさい。 → 適切な動詞の運用

- ① I [ア play イ plays ウ playing エ played] tennis every day.

【解答】 ア: 84% (21人) イ: 4% (1人) ウ: 12% (3人) エ: 0%

- ② Tom [ア play イ plays ウ playing エ played] tennis every day.

【解答】 ア: 4% (1人) イ: 84% (21人) ウ: 4% (1人) エ: 8% (2人)

- ③ We are [ア play イ plays ウ playing エ played] tennis now.

【解答】 ア: 0% イ: 12% (3人) ウ: 76% (19人) エ: 12% (3人)

- ④ Emi [ア play イ plays ウ playing エ played] tennis yesterday.

【解答】 ア: 0% イ: 4% (1人) ウ: 12% (3人) エ: 84% (21人)

(3) 指導について

本学級の生徒は、先日職場体験を終えたばかりであり、この時期に本単元を学習することはとても有意義であると考え。題材の中で共感したところや、実際に経験して感じた仕事のやりがいや大変さなどを振り返らせて、それらをスピーチの中に取り入れていくことで、生徒たちの職業観をより深めていきたい。

また、今までスピーチ活動を授業の中で行ってきたが、クラス全員の前で発表するという経験は今回が初めてである。単元の最初に目指すゴールを明確にイメージすることや、単元を通してスモールステップの活動を積み上げていくことを通して、自信を持って自分の考えを堂々と発表できるようにしていきたい。

4 単元計画 (9時間扱い 本時はその5時間目)

時間	主な学習活動	目標 (評価規準)	単元末に向けた積み上げ
1	PROGRAM6 ガイダンス ・学習内容について知る ・新出語句を練習する	・単元を通して目指す姿(ゴール)を明確にイメージすることができる。 ・単元に出てくる新出語句をすべて正しく発音することができる。	*ゴールのイメージ *使用する語彙の習得
2	§1① 名詞的用法 ・不定詞の名詞的用法について学習する	・不定詞を用いて、自分がしたいことや自分が好きなことについて英語で話したり書いたりできる。	*将来の夢を書く。 I want to (be) ~. *Quick Q&A 練習①
3	§2① 副詞的用法 ・不定詞の副詞的用法について学習する。	・不定詞を用いて、様々な行動の目的について英語で話したり書いたりできる。	*目標の実現のためにすべきことを書く。 I'll ~ to (be) ~. *Quick Q&A 練習②
4	§3① 形容詞的用法 ・不定詞の形容詞的用法について学習する。	・不定詞を用いて、何をするためのものなのかを英語で表現することができる。	*大切だと思う学習内容について書く。 *Quick Q&A 練習③
⑤ (本時)	不定詞のまとめ ・スピーチの第1次原稿を書く。 ・ペア同士で発表する。	・将来の夢について、不定詞を用いて3文以上の英語で発表することができる。また、発表者に対して英語でかんたんな質問ができる。 ・発表時のポイントを理解し、自分の課題を見つけることができる。	*スピーチの第1次原稿を書く。(将来の夢, 実現のためにすべきこと) *発表の際に自分が努力すべき課題を知る。 *かんたんなQ&Aを行う。
6	§1② §2② 本文内容理解 ・対話文の内容を理解する ・英語を音読する	・対話文の内容を理解し、英語の質問に答えることができる。 ・聞き手を意識して、英文を音読することができる。	*聞き手を意識した話し方 ① 声の大きさ ② 聞き手を見た話し方 ③ スラスラ読むこと

時間	主な学習活動	目標 (評価規準)	単元末に向けた積み上げ
7	§ 3 ②本文内容理解 ・英文の内容を理解する。 ・英語を音読する。 ・英文を参考にして、第2次原稿を書く。	・英文の内容を理解し、英語の質問に答えることができる。 ・英文を参考にしながら、自分が職場体験で学んだことを英語で書くことができる。	*スピーチの第2次原稿を書く。(職場体験で学んだことを追加) *Quick Q&A 練習④
8	スピーチ発表会 ・将来の夢について発表する	・将来の夢について、不定詞を用いてまとまりのある英語で発表することができる。 ・聞き手を意識した話し方ができる。 ・発表に対して英語で <u>かんたんな質問のやりとり</u> ができる。	
9	単元のまとめ ・スペリングコンテスト ・不定詞のまとめ	・単元に出てきた語句を正しく書くことができる。 ・将来の夢について、5文以上の英語を書くことができる。	

5 研究主題とのかかわり

インタラクティブな活動を取り入れた授業の創造

インタラクティブな活動を通していきいきとコミュニケーションを図る生徒を育成するために、本校英語科では以下のような目指す生徒像を設定した。

- (1) 意欲を持って学習に向かい、主体的に課題を追究する生徒
 - ① 学習のめあてを持ち、言語や文化に関する関心を高めようとする生徒
 - ② 自分の考えや気持ちを積極的に英語で話したり書いたりできる生徒
 - ③ 話し手や書き手の意向を理解しようという気持ちで英語を聞いたり読んだりできる生徒
- (2) 学びをたしかなものにしようと努力する生徒
 - ① 授業で学んだことを家庭学習等で反復したり振り返ったりして定着させようとする生徒
 - ② 学んだことを授業や家庭学習の中で応用・活用・発展させることができる生徒

本時の研究の視点

- (1) コミュニケーションへの意欲を喚起し、持続させるための工夫
 - ① 課題設定の工夫
実生活と結びついた身近な話題である「将来の夢」をスピーチのテーマにすることで生徒の興味関心を高めるとともに、今後に向けて夢や希望を持たせる。
 - ② 自己評価・他者評価の工夫
活動ごとに目指す姿の視点に沿った自己評価や他者評価を取り入れることで、「できた」「わかった」という自信を持たせるとともに、自分の課題を把握させ、次回以降の授業への意欲を持続させる。
- (2) 学習内容(コミュニケーションスキル)の定着を図る工夫
 - ① ゴールを明確にしたスモールステップ活動の積み上げ
単元の最初にイメージした目指す姿に向かって各単位時間で活動を積み上げていくことで、学習内容(コミュニケーションスキル)の定着を図り、自信を持って他とやりとりができるようにする。
 - ② 学習形態の工夫
ペアやグループで互いにアドバイスが送り合える学習形態をとり、生徒の新たな気づきを促す。また、安心して英語によるやりとりができるよう配慮する。

6 本時の指導

(1) 目標

- ① to 不定詞を適切に用いて、自分の将来の夢やその実現のために努力すべきことについて、まとまりのある3文以上の英語で発表することができる。また、発表に対してかんたんな英語のやりとりができる。
- ② 聞き手を意識した発表のポイントを理解し、自分の課題を見つけることができる。

(2) 指導過程

段階 (時間)	学習活動	○主な発問 ◇指示 ・予想される反応	☆評価 ※留意点 ・支援 →研究の視点
導入 (15)	1. Warm Up 新出語句練習 2. 不定詞の使い方を 復習する 3. 本時の課題を知る	◇Let's practice new words with WORD BANK. We'll try Speak-Time2. ◇Let's review 不定詞 ○不定詞の形は? ・to+動詞の原形 ○3つの意味は? ・「すること」 ・「するために」 ・「すべき」 《課題》	※英語を話す雰囲気をつくる。 ※PPを使ってテンポよく行おう。 ※本時の課題解決のために有効な不定詞のポイントを確認する。 →身近な話題をテーマに設定【視点(1)①】
展開 (5)	4. モデルを確認する	◇Let's try to make sentences in English. 「私は将来、保育園の先生になりたい。」 ・I want to be a nursery school teacher in the future. ・Because I like to play with children. ・I'll take care of many children to be a nursery school teacher.	→本時のゴールを明確に示す【視点(2)①】 ※PPを使ってテンポよく行おう。
(10)	5. 英作文をする	◇Please try to make your own script. (英語で3文以上書きます) ◇できる人はさらに1~2文付け足してみよう。	・支援が必要な生徒への援助(T2) ※上位生徒を伸ばす手立て ＊前時までの学習プリントを参照させる。 →SSの積み上げ 【視点(2)①】

段階 (時間)	学習活動	○主な発問 ◇指示 ・予想される反応	☆評価 *支援 ※留意点
展開 (15)	<p>6. ミニ発表会を行う</p> <p>①大事にしたい発表のポイントを確認</p> <p>②個人で発表練習</p> <p>③ペアで1回目の発表 →アドバイスを送り合う</p> <p>④アドバイスをもちに個人で発表練習</p> <p>⑤ペアで2回目の発表 →かんたんな英語のやりとり</p>	<p>○What are the important things for your presentation ?</p> <p>・ Voice ・ Eye Contact ・ Speed ・ Pronunciation</p> <p>◇We'll try these 3 things today.</p> <p>・ Voice ・ Eye Contact ・ Fluency</p> <p>◇ Let's make a speech with your partners and give some advices each other.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《他者評価の観点》</p> <p>①最後までしっかりと聞こえたか</p> <p>②聞き手を見て発表していたか</p> <p>③最後までスラスラ言えたか</p> </div> <p>◇Please practice your speech.</p> <p>◇ Please make a speech with your partners again. After that, give some questions.</p> <p>・ Where do you want to work as a florist ?</p> <p>・ In Sendai.</p>	<p>※T1が実際にモデルを示し、目指す姿をイメージさせる。</p> <p>*仲間からのアドバイスをもとに、自分の課題に気付かせる。</p> <p>*QuickQ&Aシートをもとに、かんたんな英語のやりとりをする。</p> <p>→学習形態の工夫 【視点(2)②】</p> <p>☆発表に対して、英語で質問したり答えたりできたか。〔観察〕</p>
終末 (5)	<p>7. 今日の授業を振り返る</p>	<p>◇今日の学習について、自己評価をしてみましよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>《自己評価の観点》</p> <p>①聞き手を意識しながら、3文以上の英語で発表することができたか。</p> <p>②発表に対して、積極的に質問したり答えたりすることができたか。</p> <p>③今回のミニ発表会で自分が特にがんばったことは何か。また、発表会までに自分が努力したい課題は何か。</p> <p>④今日の授業の感想</p> </div>	<p>☆テーマに沿って3文以上の英語を書くことができたか。</p> <p>〔ワークシート〕</p> <p>☆発表する際に自分が努力すべき課題をみるけることができたか。〔ワークシート〕</p> <p>→他者評価、自己評価を通して、次回の授業への意欲を持続させる。【視点(1)②】</p>

外国語（コミュニケーション英語Ⅱ） 学習指導案

日 時：2015年10月30日(金) 5校時
 授業者：山形県立米沢興譲館高等学校
 教諭 小池正春
 クラス：2年5組 35名
 (男子11名/女子24名)

1. 教材
 教科書：文英堂『UNICORN English Communication 2』
 単元名：Lesson 2 The Problem We All Live With

2. 本時の指導 (Lesson2 / part3)

○本時の目標

- ・4技能をフル活用し、学習事項の定着につながる活動を行う。
- ・英語で考えをまとめ、意見交換をする。

時間	指導過程	生徒の学習活動 *学習活動 ○発問 ☆指示等	●指導上の留意点 ◎評価 ◇支援	評価基準	評価方法
10分	Warm-up 【速読】	*ニュース記事を読み、以下の活動を行う。 ①タイトル和訳 ②感想を書く ③意見交換・Q&Aを行う	●原則3分で速読を行い、必要に応じて延長する。 ◇必要に応じて補足説明を行う。	・ペアワークに積極的に参加しているか。	・活動観察 ・ワークシート
5分	前時の復習	*前時の復習 ペアで前時の授業で学んだことをクイズ形式にして、確認する。 【2分×2回】	●内容や重要事項を思い返しながらか、お互いに確認しあえているか。	・ペアワークに積極的に参加しているか。	・活動観察
15分	展開①	*新出語句確認 *音読活動 ワークシートを使い音読活動を行う。	●指示が確実に通っているか。 ◇必要に応じて補足説明を行う。	・ペアワークに積極的に参加しているか。	・活動観察 ・ワークシート
15分	展開②	*前時に精読を終えた英文を用いて、速読を行い、自分の考えを英語で伝える。 ①T/F ②Q&A	●指示が確実に通っているか。 ◇必要に応じて補足説明を行う。	・ペアワークに積極的に参加しているか。	・活動観察 ・ワークシート
5分	次回予告	*確認小テスト配布 *英語要約	●指示が確実に通っているか。 ◇状況に応じて、自宅学習につながる活動を入れる。	/	/

SoftBank Hawks wins 2nd straight Japan Series Championship



Kimiyasu Kudo, manager of the Pacific League champion baseball club SoftBank Hawks, is tossed into the air by his players at Jingu Stadium in Tokyo on Oct. 29, 2015 after the team clinched its second straight Japan Series championship. SoftBank beat the Central League champion Yakult Swallows 5-0 in Game 5 of the series. (Kyodo)

Word box

Title

Write your opinion about what you read

Class: _____ No: _____ Name: _____

LESSON 2 The Problem We All Live With

Part3

【Step 1: Read Aloud】

In my family, my experience at the school was a sensitive topic; while my mother had wanted me to be one of the first students to integrate the schools, my father was resistant to the idea. This caused a lot of problems in my house, so we avoided the subject.

The first time I saw the Rockwell painting, I was about 18 years old. When I saw it, I realized the importance of what had happened and why. But it was not until decades later that I fully understood how much my first-grade year shaped my entire life.

My youngest brother passed away in 1993 and I began looking after his daughters, who happened to be students at William Frantz. I felt I had been brought back in touch with my past for some great cause.

Not long after, a children's book entitled The Story of Ruby Bridges was published. People were reminded of the little girl in the Rockwell painting, and they wanted to know more about her. Since then, I have been traveling around, telling my story and seeing how the civil rights movement is taught.

Part3

【Step 4: Writing】

Look at the key words on the board, and reproduce the summary.

class No. Name

LESSON 2 The Problem We All Live With

PART 3

In my family, my experience at the school was a sensitive topic; while my mother had wanted me to be one of the first students to integrate the schools, my father was resistant to the idea. This caused a lot of problems in my house, so we avoided the subject.

The first time I saw the Rockwell painting, I was about 18 years old. When I saw it, I realized the importance of what had happened and why. But it was not until decades later that I fully understood how much my first-grade year shaped my entire life.

My youngest brother passed away in 1993 and I began looking after his daughters, who happened to be students at William Franztz. I felt I had been brought back in touch with my past for some great cause.

Not long after, a children's book entitled *The Story of Ruby Bridges* was published. People were reminded of the little girl in the Rockwell painting, and they wanted to know more about her. Since then, I have been traveling around, telling my story and seeing how the civil rights movement is taught.

188 words

True or False

- Both of Ruby's parents had the same opinion.
- When she first saw the painting, Ruby didn't fully understand how much her first-grade year had shaped her life.
- Ruby took care of her brother's children.
- Ruby does not want to have anything to do with *The Story of Ruby Bridges*.

TEXT	
Q-⑧	Why was Ruby's experience at the school a sensitive topic in her family?
A-⑧	
Q-⑨	What made Ruby realize the importance of her first-grade school year?
A-⑨	
Q-⑩	What did Ruby feel when she began looking after the daughters of her brother?
A-⑩	
Q-⑪	Why did Ruby decide to travel around?
A-⑪	

LESSON 2 The Problem We All Live With

Part 3

A 下線部の語が推し測るものを a~d から 1 つずつ選び、○で囲みなさい。(1点×4)

- (a) integrate (b) principal (c) skin (d) remind
- (a) entitle (b) civil (c) entire (d) primary
- (a) cause (b) laugh (c) daughter (d) audience
- (a) later (b) shape (c) agitate (d) hateful

B 日本語を参考にして、かっこの中に適切な語を入れなさい。与えられた文字で始めること。(1点×4)

- 産業界は安全性についての世間の関心にもっと敏感であるべきです。
The industry must be more (s) to public concerns about safety.
- 学校の規則に反抗している生徒もいます。
Some students are (r) to our school rules.
- 私たちは渋滞を避けるためにわき道を通りました。
We took a side road to (a) a traffic jam.
- 最近 10 年間に物価が急激に上がりました。
Prices have risen sharply in the last (d) .

C 日本語を参考にして、かっこの中に適切な語を入れなさい。1.と3.は与えられた文字で始めること。

- (2点×4)
- その映画俳優が亡くなって5年になります。
It has been five years since the movie star () (a) .
 - 私が通ったとき、ドアがたまたま開いていました。
When I passed by, the door () () be open.
 - 彼と今連絡を取る術がありません。
I have no means of getting () (t) () him now.
 - この歌を聴くと妻と初めてデートした日を思い出します。
This song () me () the day when I had the first date with my wife.

D 日本語の意味を真すように、[] 中の原句を並べかえなさい。(2点×2)

- 夕食が終わってやると彼は到着しました。
[it / not / over / that / the dinner / until / was / was] he arrived. _____ he arrived.
- 初めてアメリカに行ったとき、見るもの全てに驚きました。
[first / I / time / the / the USA / visited], I was surprised by everything I saw. _____ I was surprised by everything I saw.

